



視力検査の結果について

10/27 (水) 幼児組さんを対象に視力検査を行いました。検査結果は目安としていただき、気になる場合は詳しく眼科で診察を受けましょう。結果はけんこうノートをご確認ください。

おしらせ

全園児健診のお知らせ
11月25日（木）園医の石垣先生が園で行います。
当日はできるかぎりお休みがないようにご協力を願っています。



今日は何の日！？

11月8日は「いい歯の日」

自分で歯みがきをする子も増えてきたと思います。自分でみがける子でも、最後はきちんと仕上げみがきをしてあげましょう。歯みがきを苦手とするお子さまは、おうちで歯みがきカレンダーをつくるなど、歯みがきに興味を持たせるところから始めます。歯みがきができたらカレンダーにシールを貼ったり、スタンプを押してあげましょう。

きれいにみがけているかの歯みがきチェックや仕上げみがきは虫歯予防のために行うようにしてください。



11月12日は「皮膚の日」

空気の乾くこの時期は皮膚がカサカサになったり、かゆくなったりと乾燥肌が気になります。タオルでゴシゴシと強くこすらず、お風呂上がりには保湿クリームを塗りましょう。

乾燥の季節です。保湿剤でケアしましょう！

これらの季節、風邪をひかないように…とい厚着をさせてしまいがち。寒い日は、園内は床暖房でとても暖かくなります。裏起毛やフリース素材は、保温性が高く体を温めてくれますが、特に体温調節の未熟な乳児は、熱がこもって発熱の原因となってしまったり、冬でもあせもができてしまうことがあります。園内は、綿素材の長袖Tシャツや薄手のトレーナーの上下などが過ごしやすいでしょう。

また、サイズがぴったりし過ぎて着替えがしにくくないですか？袖まくりができるくらい腕周りが窮屈ではないか、サイズの確認もよろしくお願いします。

睡眠中の赤ちゃんの死亡を減らしましょう



乳幼児突然死症候群

睡眠中に赤ちゃんが死亡する乳幼児突然死症候群

SIDSは、何の予兆や既往歴もないまま乳幼児が死に至る原因の分からぬ病気です。令和元年には78名の乳幼児がSIDSで亡くなり、乳幼児の死亡原因の第4位です。着せすぎや温めすぎもSIDSの要因の一つに挙げられます。

SIDSの予防方法は確立していませんが、以下の3つのポイントを守ることにより、SIDSの発生率が低くなるというデータがあります。



1歳になるまでは、寝かせる時はあおむけに寝かせましょう

SIDSは、うつぶせ、あおむけのどちらでも発生しますが、寝かせる時にうつぶせに寝かせたときの方がSIDSの発生率が高いということが研究者の調査からわかっています。医学上の理由でうつぶせ寝を勧められている場合以外は、赤ちゃんの顔が見えるあおむけに寝かせましょう。この取組は、睡眠中の窒息事故を防ぐ上でも有効です。



たばこをやめましょう

たばこはSIDSの発症の大きな危険因子です。妊娠中の喫煙はおなかの赤ちゃんの体重が増えにくくなりますし、呼吸中枢にも明らかによくない影響を及ぼします。妊娠自身の喫煙はもちろんのこと、妊婦や赤ちゃんのそばでの喫煙はやめましょう。これは、身近な人の理解も大切ですので、日頃から喫煙者に協力を求めましょう。



できるだけ母乳で育てましょう

母乳育児が赤ちゃんにとっていろいろな点で良いことはよく知られています。母乳で育てられている赤ちゃんの方がSIDSの発生率が低いということが研究者の調査からわかっています。できるだけ母乳育児にトライしましょう。



窒息事故防止のために 睡眠中に赤ちゃんが死亡する原因には、SIDSのほか、窒息などによる事故があります

- ・ベビーベッドに寝かせ柵は常に上げておきましょう。
- ・敷布団、マットレス、枕は固めのものを、掛布団は軽いものを使いましょう。
- ・口や鼻を覆ったり、首に巻き付くものは置かないようにしましょう。